

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	理科教育等整備事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	学校教育課			1	10	2	1	13	1	2,000
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり				包含する細々目	1	10	3	1	13	1	0
施策	22 義務教育の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等		理科教育振興法				
		事業期間		年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飯田市内小中学校	整備実施を予定する学校数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			29		29	
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	理科教育等の設備を定められている基準に近づけることを目標に整備し、より良い学習環境作りをすることにより、児童生徒に生きる力をつける。	実際に整備実施できた学校数	18目標	10	最終目標	29
			18実績	10	19目標	10
			23目標	29	23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	理科教育等(理科、算数及び数学)のための設備を整備するために、必要な経費の一部を補助し、理科教育等の振興を図る。 国庫補助を受け、理科教育に必要な設備を国が定める基準に沿って整備する。 (中学校の財務会計上の位置付け 11031131)	18年度の実績 19年度計画	中学校グループ(10校)を対象に17年度同様の整備を行う。国の動向を見ながら、必要であれば一般財源のみでの取組も検討する。 19年度は、小学校1グループ10校を対象に、17年度同様の整備を行う。	実施校数 実施校数

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	1,397	1,000
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	1,397	1,000
	事業費計(A)	2,794	2,000
人件費	正規職員所要時間	18年度 10	19年度 10
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	36	36
	トータルコストA+B	2,830	2,036

特定財源内訳や補足事項	学校教育設備整備費等補助金(理科教育等設備整備費補助)
-------------	-----------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	実験、観察などが円滑に行うことができ、学習指導要領に沿った授業ができる。	基礎学力の水準(小学校)	現状値	51.8	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	52
	基礎学力の水準(中学校)	現状値	52.1	19実績		
		20実績		21実績		
22実績			23目標		52.5	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
理科教育振興法の施行	国庫補助金について、事業費の1/2が補助されることになっている。 理科教育、実体験がクローズアップされてきている	整備したい備品等が購入できない。(学校より)

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	